

川の子ども新聞

第11号

THE JOMO SHINBUN

上毛新聞

発行所：〒100-8385 東京都千代田区千代田1-1-1



さわなみ、さやか。

さくら、ほころぶ。水、ぬるむ。
春風さやさや、さざなみ、さやか。



- P2-3 緑んまの
下久保ダム探検隊
「日本一」が2つあるという
下久保ダムを冒険しよう。
次のページを見てね。
- P4-5 河川伏魔殿と河童は妖怪と?
川ってなあに? その③
- P6 トビックス・読者からのねたよび
- P7
- P8 ボトムズの楽校

発行所：〒100-8385 東京都千代田区千代田1-1-1 神楽湖(鬼石町)

川にまつわる話

飯塚 春夫

◆デアラボツチの足跡

現在下久保ダムに木立した野郎は鬼洞成取野郎のふもを流れる神楽川に鬼洞とゆばれる所がありま。乳房もくりの形をした岩から流水が流れ出てあり、ここに四人デアラボツチのたまご巣跡がありました。もう一方の足跡は同じ飯取のアシボクボというところにあり、デアラボツチが同足をもふらつて鬼石裏の神山(高平山)に土を運び、まもなく、それは高平山と同じ高さになつて一丸のやぶで高が用ひてまいました。デアラボツチ、あるいはダイアラボツチなどと呼ぶ二人の伝説は、高平山の一もこの山脈をたはじ、長野客地に伝つてまいました。

◆**神楽川の伝説**
神楽川の水源は三圓山、下久保を流れて野郎成取野郎のふも川に注ぎ、さらに利根川に合流する。この自然豊かな美しい河川です。この神楽川に次のような伝説が伝わっています。

◆**鬼石の由来**
鬼石町は町名に、鬼の子づく大塚という地名です。この地名には伝説がいくつあるのです。一つは高平山という山脈に密着する、高平山に鬼が、あるとき、飯取大塚の麓にこの山脈へつたて鬼を打ち破つたところ、鬼は逃げ逃げつて逃げ去つたので鬼と神がまがうになりました。一方には、鬼石神社のご神木に大きな石、大塚の石でつたてに包まれ、高平山に鬼などのない状態を、鬼石とゆはれてまいました。この石たちを、地名が鬼石とゆはれるようになったと言われています。



◆**大曾** 日本武尊は、東国湖沼沼の遊樂事故であまの御魂(あまのたま)を奪つた。この時、高平山に密着する、高平山に鬼が、あるとき、飯取大塚の麓にこの山脈へつたて鬼を打ち破つたところ、鬼は逃げ逃げつて逃げ去つたので鬼と神がまがうになりました。一方には、鬼石神社のご神木に大きな石、大塚の石でつたてに包まれ、高平山に鬼などのない状態を、鬼石とゆはれてまいました。この石たちを、地名が鬼石とゆはれるようになったと言われています。